

県民の友

発行/和歌山県 知事公室 広報公聴課 〒640 和歌山市小松原通1の1 ☎0734(32)4111 No.594

昭和63年
2月号



明日にむかって

猛ダッシュ

ラグビーには「ノーサイド」という用語があります。試合終了のことですが、試合が終われば敵も味方もない、みんな仲間という意味にも使います。

「紀州てまり」は県内でただ一つ、全国でも数少ない女性ラグビーチーム。結成されて一年余り、週一度の練習を続け試合ができるようになりました。

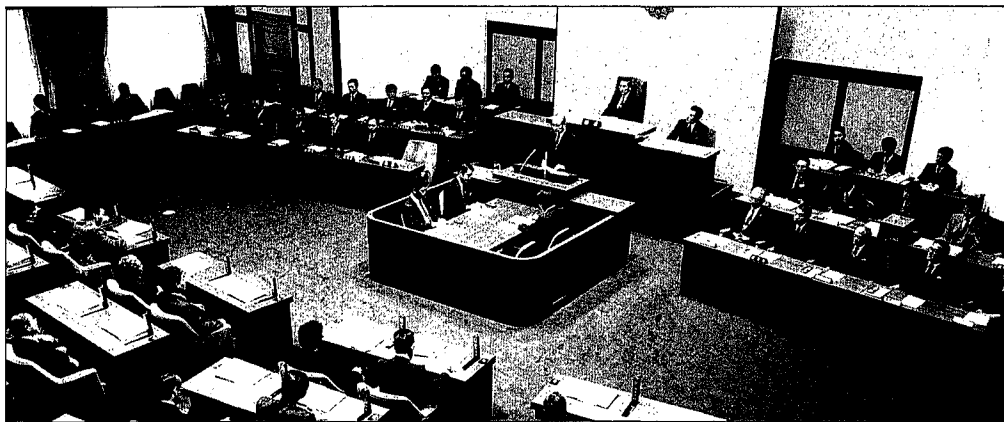
全員18歳から25歳までのOL。ラグビーで体を鍛えるというだけでなく、仲間を作り、コミュニケーションを作る。

彼女たちのモットーも「ノーサイド」ひとりみんなのために、みんなはひとりのために。

「明日にむかって猛ダッシュ！」



紀の川分水、府県間道路整備、 医大の統合移転の問題等で活発な論議



紀の川大堰建設に関する基本計画策定に係る意見を提出するについて知事の意と
するところを伺いたい。

紀の川大堰建設は、和歌山市をはじめ、流域の住民が洪水の心配のないようにする極めて重要な事業であり、関係者の関心も非常に

十二月定例会は、十二月一日から十七日までの十七日間にわたって開かれ、昭和六十二年一般会計補正予算案をはじめ、紀の川大堰の建設に関する基本計画の作成について知事が意見を述べることに付いての議会の議決を求める議案など十八件の議案について、それぞれ原案のとおり可決されました。また、さきの九月定例会に提出され、閉会中の継続審査とされていた昭和六十一年度和歌山県公営企業決算の認定の案件についても認定されました。

なお、今回、提出議案のうち、昭和六十一年度和歌山県歳入歳出決算の認定に係る議案については、決算審査特別委員会が設置され、閉会中の継続審査とするとともに、委員の選任が行われました。

このほか、「国保制度にかかる厚生省改革案に対する意見書」が可決され、政府関係機関に送付されました。

質疑及び一般質問では、十六人の議員が質問に立ち、二十一世紀に向けての均衡のとれた県政の推進、紀の川大堰の建設と大阪府への分水及びそれに関連する問題、府県間の道路整備、県立医科大学統合移転の問題、和歌山マリーナシティ計画、コスモパーク加太計画等の民活プロジェクト、リゾート法に基づく基本構想の策定、原子力発電所問題、御坊田園テクノタウン、日高重要港湾整備、リゾート産業等の企業誘致、観光振興対策、農産物輸入自由化問題、みかん対策、その他農政の問題、冷水塊被害と対策、パート労働対策、寝たきり老人、在宅老人対策その他老人福祉の問題、精神障害者(児)問題、国保の制度改革、私学振興、教育問題、暴力団対策、更に、置県百二十周年記念事業計画など、県政各般の問題について取りあげられ、活発な論議が交わされました。

ある。また、県政にとって最も重要な問題であるので、県議会はもとより、各地においても種々協議をいただいてまいったところである。関西国際空港も着工の運びとなつて二十一世紀にふさわしい我々の郷土づくりを目指している時である。この大堰建設にあわせ分水を契機として、南大阪、泉南地方と紀北地域が一体となった健全な発展を図るためには、地域の資源と知恵を最大限に生かすことが県民の真の豊かさとして幸せにつながるものと信じている。もちろん、本県の必要水量を確保するのは当然であり、キメ細かな配慮と熟慮の上に責任をもって誠実に進めていく考えである。

「ふれ愛紀州路キャンペーン」の反響はどうか。

まず、観光客数の状況であるが、六十一年は、史上最高のお客を迎えることができた。これも春のルネ熊野、秋のノスタルジア紀州キャンペーンや各観光地でのイベント、そして温泉ブームなどが相乗効果をあげたものと考えている。六十二年は、前半は、夢工場・天王寺博などの他府県のイベントや、温泉ブームの鎮静化、夏季の天候不順等により、前年よりかなり減少を余儀なくされたが、九月から実施している「ふれ愛紀州路キャンペーン」が好調に推移して前年以上の数字が出るものと考えている。このキャンペーンは、全市町村あげてのキャンペーンであり、タイトルも従来の「きらめく紀州

路」から「ふれ愛紀州路」へと一新し、新たな決意で取り組んだキャンペーンである。また、その間、東京、大阪、名古屋等での観光展や全国の各駅でのポスター掲示などを通じて大変よい感触であり、この浸透した紀州路のイメージを更に将来につないでいく考えである。

県警察の暴力団対策に関する重点目標について伺いたい。

県警察では、毎年、重点目標を定め、その達成に努めている。この重点目標は、警察の責務をより具体的なものにして警察部内における実践目標とするともに、県民に対し、警察の決意と姿勢を表明したものである。次に、暴力団を壊滅して暴力的不法行為の根絶を図るためには、徹底して検挙するのにあわせて暴力団犯罪の防圧を含めた広範な暴力団排除活動を行うことの必要性を痛感している。本年策定した県警察の暴力団総合対策要綱もこうした考えに基づくものであり、また、六十三年の重点目標についても従来の「暴力団犯罪の徹底検挙」という表現を改めて「暴力団対策の推進」とすることを含め、県民が暴力団に泣かされないよう、総合的な諸施策について、現在、鋭意検討を進めている。県民の要望にこたえて暴力団が県民に迷惑をかけることを許さない、これを防圧するという決意をもって強力に推進する所存である。

紀南における医療の充実に
ついてはどうか。

全県下住民の健康と福祉を考える時、山間へき地の多い紀南の医療について従来から努力してきているが、今後もなお一層取り組んでいかねばならないと考えている。なお、現在県立医科大学からの公立病院等への派遣の現状は、派遣者一四一名のうち紀南地方への派遣は七九名となっている。

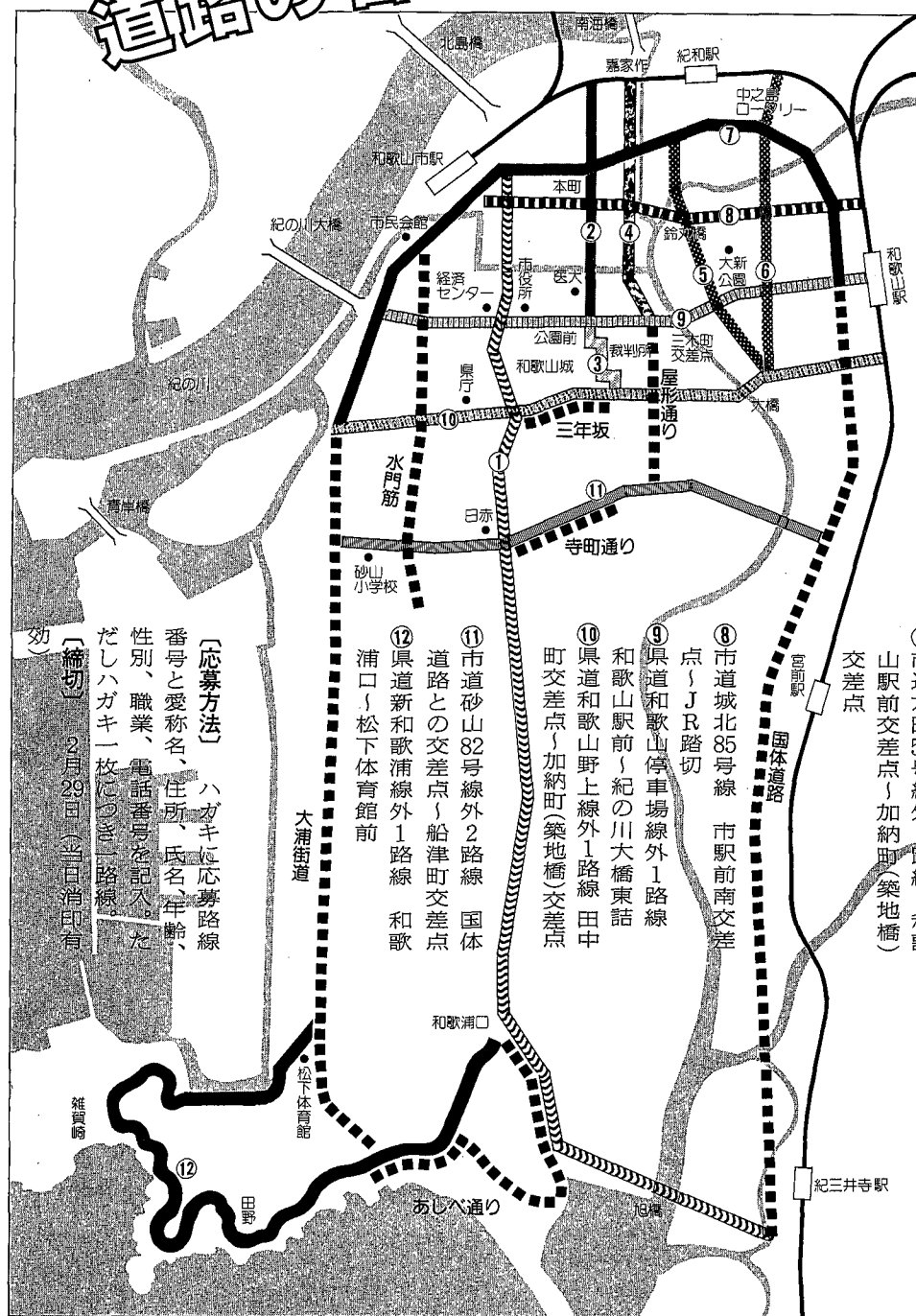
障害者に係る和歌山県長期行動計画の残された四年間の具体的行動計画と、昭和六十三年度における具体的施策についてはどうか

現在まで、平等の理念、完全参加というかたちで進めてきており、啓発の問題、保健の問題、医療、教育、福祉、雇用対策などについて、前期の五年間の成果を踏まえながら積極的に対応していきたい。六十三年度における具体的な施策であるが、既存の事業の充実に加え、重度障害者施設の整備、施設防災対策としてスプリングクレーやホットライン設備、また、障害者の住みよいまちづくり推進事業、身体障害者の家庭奉仕員の設置、ミニファックスの設置などの在宅対策の充実、また、盲導犬の給付をはじめとする社会参加促進事業の充実などに努めていきたいと考えている。

おち 道路の名づけ親になりませんか！

道路は人や物が行き交うだけではなく、文化や情報、そして歴史という時が行き交う私たちの生活にとって、最も重要なものの一つだともいえます。

県ではふるさと運動の一環として、道路の愛称を募集します。今回はまず和歌山市の図に示す12の道路に名前を付けてください。



- ① 国道24号・42号 宇治交差点
- ② 市道本町6号線 本町7丁目
- ③ 市道城北70号線 公園前交差点
- ④ 国道24号・市道本町14号線 嘉家作・三木町交差点
- ⑤ 県道紀和停車場線外1路線 東仲間町交差点
- ⑥ 市道中之島30号線 天王町・橋向町交差点
- ⑦ 市道本町53号線外3路線 和歌山駅前交差点
- ⑧ 市道城北85号線 市駅前南交差点
- ⑨ 県道和歌山停車場線外1路線 和歌山駅前・紀の川大橋東詰
- ⑩ 県道紀和停車場線外1路線 田中町交差点
- ⑪ 市道砂山82号線外2路線 国体道路との交差点
- ⑫ 県道新和歌浦線外1路線 和歌浦口・松下体育館前

〔応募方法〕 ハガキに応募路線番号と愛称名、住所、氏名、年齢、性別、職業、電話番号を記入。ただしハガキ一枚につき1路線。

〔締切〕 2月29日（当日消印有効）

〔あて先〕 〒640 和歌山市小松原通一―一 紀州ふるさと運動推進協議会「道路愛称委員会」
〔賞〕 各路線につき一名（複数の場合は抽選）賞状、副賞三万円を贈ります。
くわしくは県庁文化振興課へ。
すでに愛称名で親しまれている区間、例えば三年坂、寺町通りなどは、「愛称道の三年坂」となります。



人と人 気持ちが一つに なりました

「ふれ愛紀州路」観光キャンペーン

昨年九月から十二月にかけ、県下各地で八つのメインイベント、二百二十五の地域イベントを中心に、県内外へ向け一大観光キャンペーンを展開しました。

今回その総括という意味で、県下各地でイベント作りなどで、大変苦勞なされた方々に、苦勞話や抱負などをお聞きしました。

昨年前半は、夢工場、天王寺博など他府県のイベント、温泉プールの沈静化、夏の天候不順により落ち込んでいた観光客も、キャンペーンが順調に展開されるにつれ盛り返し、過去最高であった一昨年を越えました。

これは各地域の人と人が、気持ちが一つになって汗を流した「ふれ愛」の成果です。

今年は奈良のシルクロード博、瀬戸大橋架橋記念博など全国規模のイベント、全国各地の大小のイベントが花盛りです。これらにいかにかに協調し、宣伝や誘客をはかるかが大きな課題です。

また、今秋熊野の地で開かれる日本文化デザイン会議を起爆剤に、熊野古道、ふれ愛キャンペーンパートIIなどを強力に展開し、この盛り上がった人の輪をさらに大きく花咲かせたいものです。



佐古宣英さん
(高野町役場
産業観光課)

イベントは参加者数からみても決して成功したとはいえない。でも参加者が少ないから失敗したとは考えない。「星空めぐり」では残念ながら雨で中止となったが、何か新しい高野山観光への手応えがあり、PRの方法、地域特性の生かし方など得るものが多かった。これからは、仏教観光も大切にするなかで、高野山ならではの自然環境を活かし時代の要求に対応した観光地づくりに、失敗を恐れず何事にもチャレンジしていきたい。



川口和博さん
(白浜観光協会)

ツールドジャパンでは危険防止のため、曇千枚の確保にたいへん苦勞しました。

昨年前半の落ち込みを、9月からのキャンペーンで盛り返し、宿泊客は二百万人には達すると思えます。

今年も皆で相談しながら、例えば白良浜を利用した海浜バレーボール選手権とか、日本文化デザイン会議のブレイクイベント、白浜海洋リゾートファッショントピックスティバルのようなイベントが出来ないかなあと考えています。



井上ひとみさん
(本宮町
観光協会)

私自身初体験の「能」、お客様からの問い合わせに勉強・勉強の黒川能でした。でも翌日の新聞にイベント成功の記事を見て、苦勞も吹っ飛びました。

本宮町には、他の観光地にはつきものの遊樂街の施設がありません。それが自慢のひとつです。トロッコを走らせ、溪谷めぐりなんかどうでしょうか。私なりにいろいろ考えるんですが、何をす

るにも高齢化が進む本宮町に若者が永住できるようにしないとね。大問題ですが精いっぱい勉強して頑張っていきたい。



田中彰一さん
(熊野ふれ愛フェ
スティバル実行
委員会)

各団体、地域間での事情、意見の相違、観光客向けか地元の人向けのイベントか悩みは大きかった。でも青年層が中心となったこの実行委員会で、人と人とのふれあい、ネットワークが出来たことは大きな成果でした。この苦勞は今秋の日本文化デザイン会議に、そして将来に必ずつなげるし、つながなくてはいけないと思います。

画一的なリゾート開発ではなく、海(明るさ)、山(精神文化)を付加価値として21世紀を想定した熊野のビジョンづくりを目指した



また、昨年度国際観光モデル地区に指定されたので、外国人観光客の受入れのための勉強にも力を入れていきたい。

成人病予防特集

「人生80年」、現在はこの高齢化社会のまっただなかです。

長寿は人類の理想です。わが国は、その意味では、理想郷に近づきつつあるといってもよいかも知れません。

しかし、一方ではひとりぐらし老人やねたきり老人が増えているのも現実です。

文字どおりの「長寿社会」あるいは「高齢者福祉社会」をつくりだすため、いろいろな施策が講じられていますが、何といたってもそのもととなるのは健康です。健康にまざる幸福はありません。

和歌山県は、現在、県民が成人病にかからないようにし、すこやかな老後をむかえられるよう成人病検診推進キャンペーンを展開しています。

県民一人ひとりが、「自分の健康は自分で守る」という意識を持ち、このすばらしいふるさと和歌山に生まれ、育つて良かったと思えるような県にしなければなりません。

この県民の友「成人病予防特集」を家庭で、職場でそして地域で活用していただきたいものです。

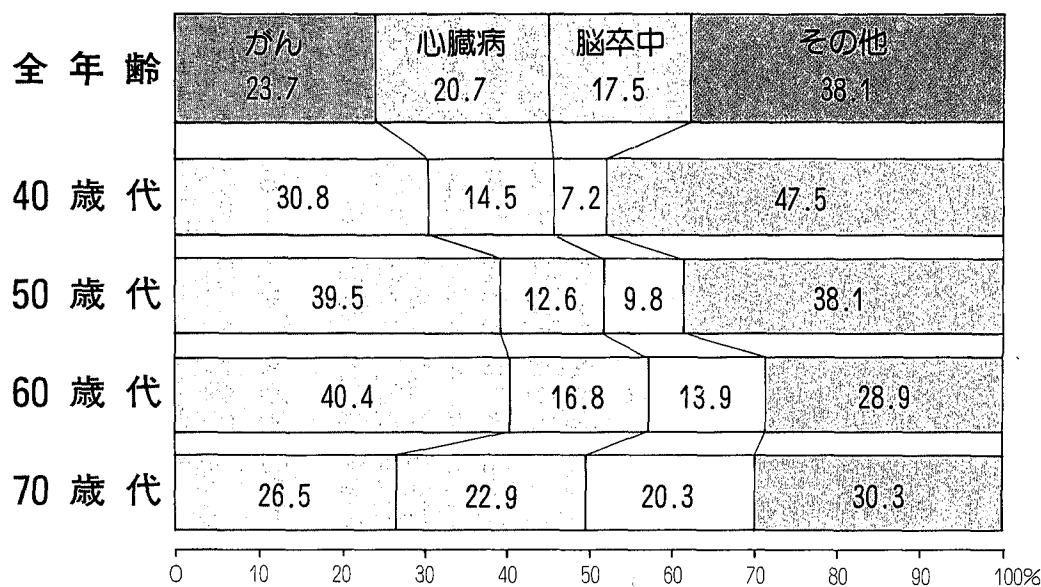
あなたのまちの愛ことば



この標語は、和歌山県が成人病を撲滅するために成人病検診の受診を呼びかける標語を募集し、あなたのまちの標語としてグランプリに選ばれたものです。

和歌山市	成人病かからぬ努力と見つける受診	津田美起子	和歌山市	御坊保健所	まず検診受けて安心あなたと家族	竹内トシ子	御坊市
高野口保健所	検診は明るい未来のパスポート	鍵屋 義則	九度山町	田辺保健所	成人病あなたもわたしも先ず検診	坂口サカエ	大塔村
岩出保健所	受けよう検診。今なら防げる成人病	青柳 智博	岩出町	古座保健所	検診であなたの健康再確認	西野由利子	串本町
海南保健所	検診は幸せつくる第一歩	山本 正司	下津町	新宮保健所	検診は健康管理の第一歩	浜野 兼吉	新宮市
湯浅保健所	検診で早期発見救える命	坂上 拓慈	湯浅町				(敬称略)

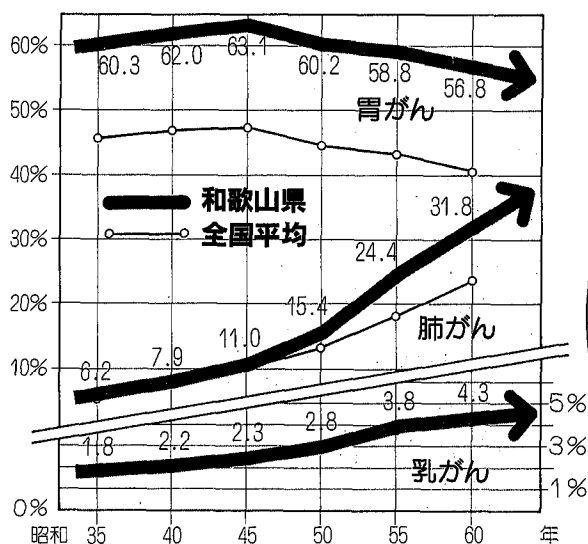
年齢階級別死亡原因 <昭和61年>



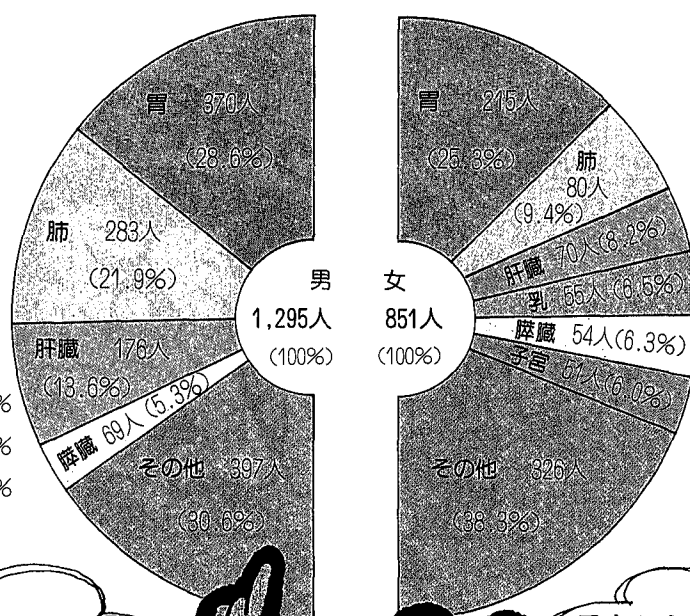
三大成人病(がん・心臓病・脳卒中)の死亡割合は全体の六〇%以上を占めています。特に近年、がん・心臓病で死亡する人が増加しています。

グラフで見る和歌山県の成人病

年次別死亡率 <人口10万対>



部位別がん死亡者 <昭和61年>



肺がんと乳がんの死亡者が年々増えているなあ

お父さん
たばこ
やめなきゃネ

男女とも胃がんの死亡者が一番多いのネ。でも胃がんは、検診で早期発見・治療できるわネ



保健事業と医療費

〔老人医療の大部分は成人病治療〕

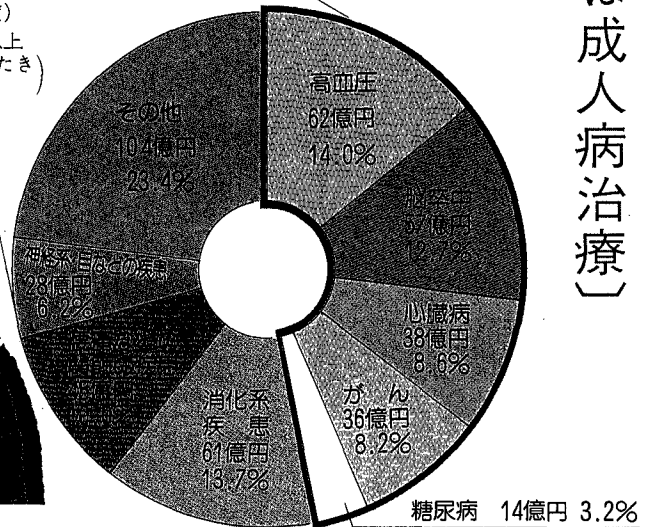
和歌山県での七〇歳以上の老人（六五歳以上のねたきり老人を含む）にかかる医療費は、昭和六十一年度一年間で約四四五億円。このうち、高血圧、脳卒中、心臓病、がん、糖尿病などのいわゆる成人病の治療のための費用が半分近くの約二〇七億円となっています。逆に、これらの成人病を予防するための検診費を中心とした保健事業

県民の友

保健事業費 4億円
対象 40歳以上
(子宮がん・乳がん)
検診は30歳以上

疾病別老人医療費

老人医療費 445億円
(昭和61年度)
対象 70歳以上
(65歳以上のねたきり老人を含む)



7 昭和63年2月1日

費は、六十一年度一年間で四億円弱と大きな差があり、今後の老人人口の増加により、このままでは、ますます老人医療費の増加が予想されます。若いうちからの成人病予防をすめ、成人病にかからない健康な老人が増え、老人にとっても幸福であり、社会全体にとっても大きな費用の軽減となります。



成人病検診啓発標語金賞作品

多数の応募ありがとうございました。グランプリ作品は保健所単位にステッカーにして各世帯に配布します。以下金賞作品を紹介します。(敬称略)

和歌山市

成人病検診年に一度の健康チェック
無関心こわい手遅れ成人病
町ぐるみこそって検診ひるがる笑顔

竹内 啓
西川 千鶴
須田百合子
中西 英之
前田 邦仁

田辺保健所
まず検診受けて明るいあなたの家庭

成人病健康増進に先ず受診
検診こそ明るい明日への道しるべ

西崎美美子(田辺市)

古座保健所
検診を受けて安心第二の人生

検診で大きな安心確かなものに
受けよう検診みんなの健康

森下 博文(古座町)

新宮保健所
予防には早め早めの検診で

さそわれてさそって受ける成人病検診
成人病心配するより検診を

杉浦 佳菜(新宮市)

湯浅保健所
検診を受けて明るい健康家族

誕生日それはあなたの検診日
検診は健康管理の第一歩

阪口 弾(有田市)

御坊保健所
成人病早く気付いて明るい家庭

呼びかけて連れもて受けようがん検診
元気でも年に一度の検診を

上田 恵子(由良町)

田井 清美(白浜町)

庄堂 幸男(上富田町)

藤本真智子(川辺町)

中井 徹(印南町)

岩出保健所
検診日隣の人と誘い合い!

谷本 裕子(岩出町)

中野 綾子(貴志川町)

武本 悦子(打田町)

海南保健所
検診で命拾ったこの笑顔

森本 寿(下津町)

白藤 実一(海南市)

芝崎 千鶴(海南市)

健康診査を受けよう！

健康診査があなたの命を守ります

人はだれしも何らかの原因で死亡するわけですが、たとえばあなたが三大成人病で死亡する確率は六〇%以上です。一次予防を心がけることによってその確率を低めることはできますが、成人病には絶対ならないということはないのです、やはり、二次予防(検診)を実行することが重要です。特に、働き盛りの時に成人病で倒れないためには、確実な効果のある二次予防を念頭に置く必要があります。

がん検診とは

胃がん検診

胃部エックス線撮影

子宮がん検診

子宮頸部細胞診

子宮体部細胞診(ハイリスク者)

乳がん検診

視触診(超音波による検査を併せて行うことがあります。)

肺がん検診

胸部エックス線写真読影(ダブルチェック)

※結核検診と同時実施

喀痰検査(ハイリスク者)

がん検診

要精検

精密検査 (精密検査) (医療機関)

発見されました

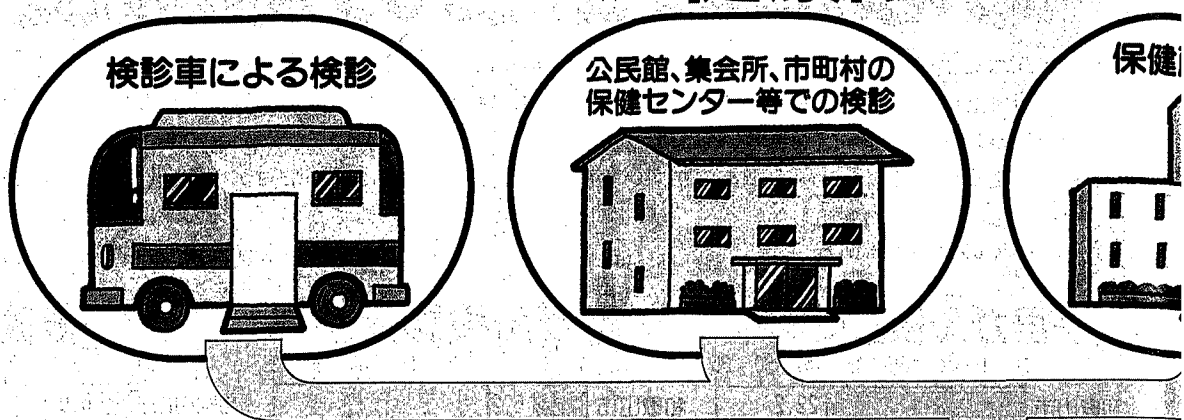
いい健康習慣ですか

病気になるにくい健康習慣にかえよう
毎年検診を受けよう

毎年



健康診査の流れ



基本健康診査とは

おもに、心臓病と脳卒中を予防するために、下記の検査を行います。

身体計測

身長測定

体重測定

理学的検査

視・触診、聴打診

腹部触診など

血圧測定・検尿

血圧測定

尿糖、尿蛋白、尿潜血の検査

総コレステロール検査(血液検査)

血液中の総コレステロール値の検査

肝機能検査(血液検査)

血液中のGOT、GPT値の検査

※貧血検査(血液検査)

血液中のヘモグロビン(Hb)、ヘマトクリット値(Ht)、赤血球数の検査

※血糖検査(血液検査)

血液中の糖濃度の検査

※循環器検査

心電図

眼底検査

※医師の判断により省略することがあります。

基本健康診査

要指導
市町村や保健所等の医師、保健婦、栄養士の生活指導などを受けてください

異常ありません

要精検・要医療

毎年検診を受けよう

よりくた

早期に治療を受ける



はい

異常が

病気になり

はい

望ましいです
検診を受けよ

あなたのまちの健康度は？

老人保健法に基づく、成人病の予防を目的とした胃がん検診等の健康診査は、市町村事業として行われていますが、残念ながら本県の検診受診率は相当低い状況です。

昭和61年度におけるアンケート調査の結果、検診を受けない主な理由は、次のとおりでした。

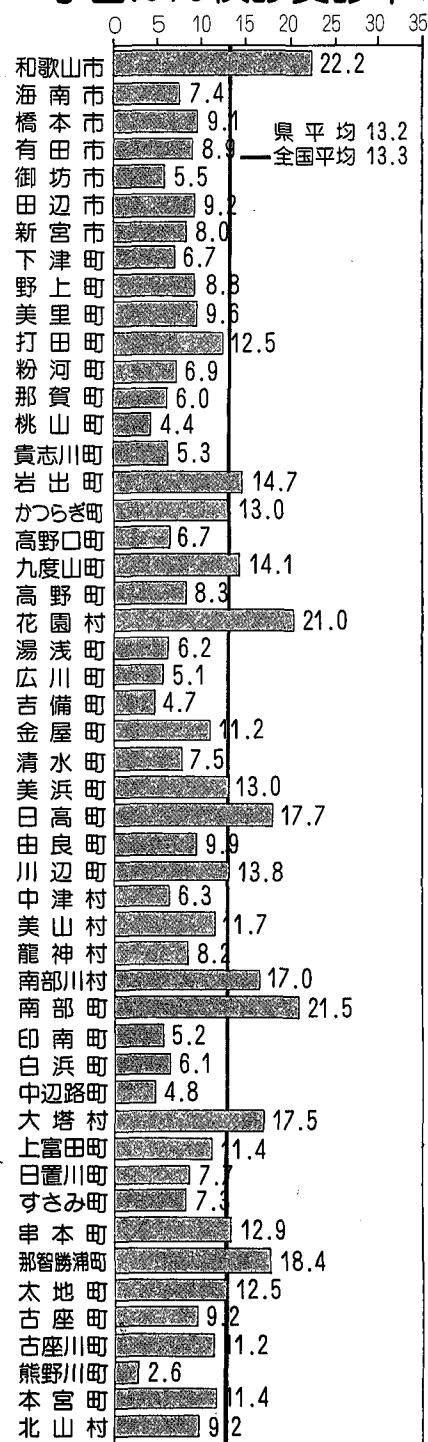
①受けに行くのが面倒である。

②健康に自信がある。

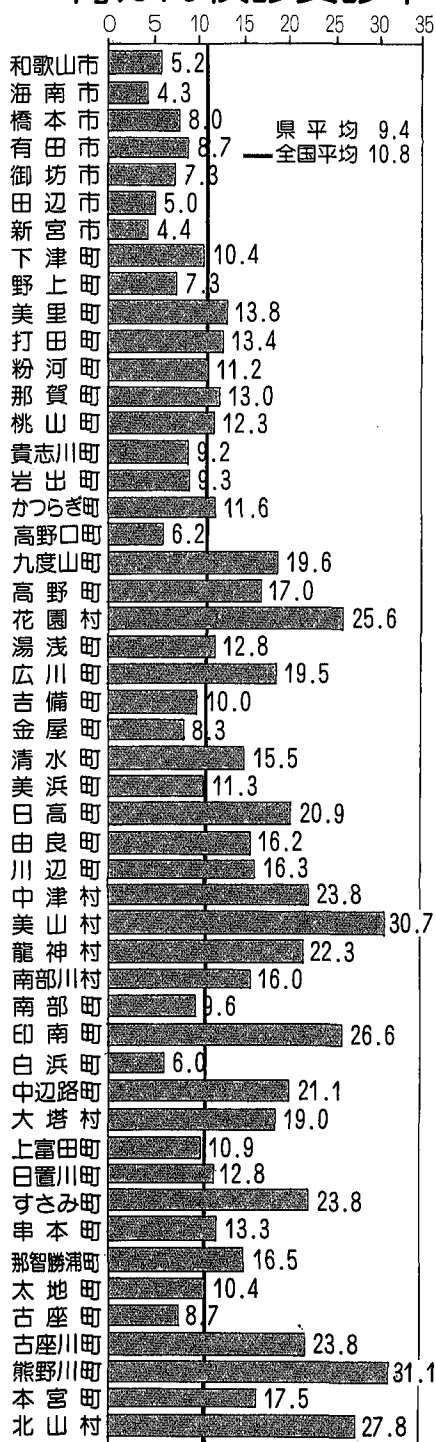
③忙しくて受ける暇がない。

このことからみても、検診の受診率を向上させていくためには、市町村が積極的に検診事業を推進するとともに、県民の皆さんに「自分の健康は自分で守る」という意識を持っていただくことが何よりも大切であるといえます。

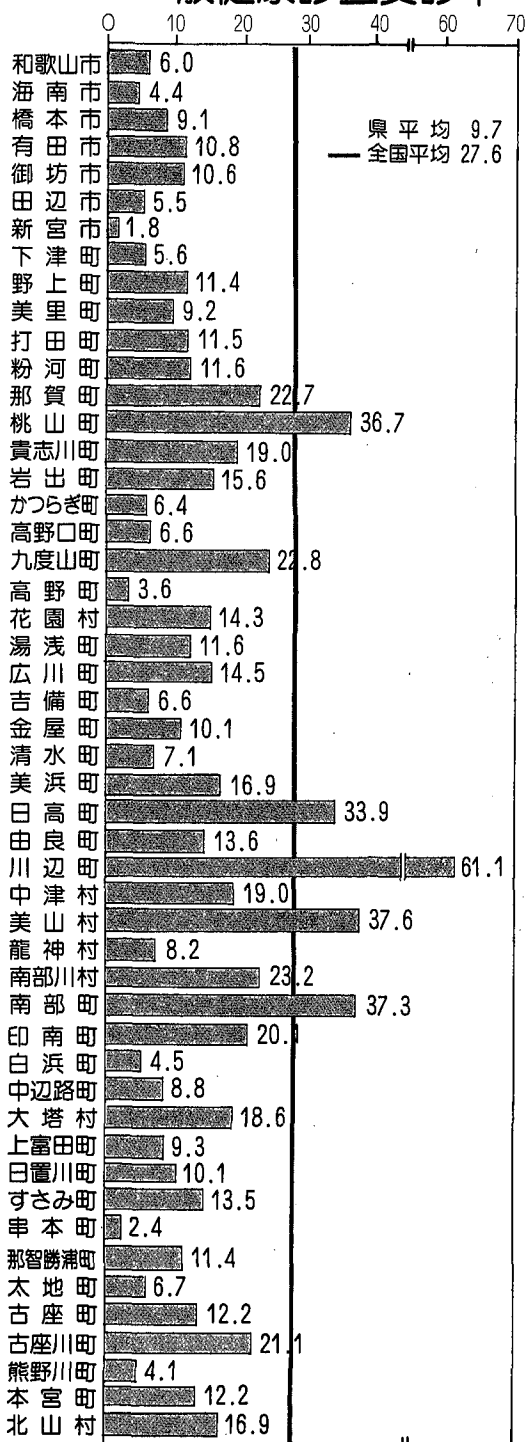
▽子宮がん検診受診率



▽胃がん検診受診率



▽一般健康診査受診率



体験談

多数応募いただいたがん体験談の中から三点選んで紹介します。この体験談を通して成人病検診の大切さを、もう一度考え直していただけたらと思います。

胃がんを克服して

和歌山市 青木克次

私は保健所に勤務している関係上、がんについて理解しているつもりでした。

また昨年三月成人病撲滅県民シンポジウムが「がん」に克つために」のテーマで開催され、私も出席して早期発見、早期治療の必要性を認識いたしました。まさか自分ががんになるとは思っていませんでした。しかし、「四十歳を過ぎたらがん検診」という言葉が気になり、K病院H先生に精密検査を受けました。

約一週間後の結果で、胃カメラに異常な影が…そして組織検査の結果で、がんの疑いが強いという診断が下りました。

H先生は一言一言、言葉を選んで下さいましたが、私はショックで目の前が真っ暗になり、心の中にがんに対する恐怖と、最悪の事態への不安がわいてきました。しかし一方では食欲もあり元気だったもので、何かのまちがいはと、かすかな期待を抱いてN病院で再検査。「よくまあみつけてもらったね。H先生に感謝しな



さいよ。」と言われ外科へ回されました。

そして、五月に手術。手術後「やはりがんだったそうよ。でも手術は大成功でした。このまま放っておいたら穿孔して大事に到る所だったのよ。」という妻の言葉を聞きました。看病の疲労と精神的重圧に押しつぶされてしまうのではないかと心配していた妻が、意外にしっかりしていたことが、私に希望と勇気を持たせてくれました。経過は驚く程順調。六月退院。八月中旬から職場復帰。

病気になるって初めて、健康であることの素晴らしさと、旧師の「蔵の財より身の財すぐれたり、身の蔵より心の財第一なり」の言葉の意味が身にしみてわかりました。今では職場、家庭、地域で会う人ごとに、「自分の健康は自分で守れ。成人病を早期発見、早期治療しよう。」と訴えています。

子宮がん体験談

中辺路町 裕地品枝

昭和五十七年に定年退職。農家の主婦となり、慣れない農作業を続けているうちに、体重が減りはじめました。はじめは仕事が変わったので疲れるのだと思っ

あえず検査を受け帰宅、三日目に入院、二回の手術を受けて昭和五十九年一月六日に退院しました。始めは一週間おきの通院でしたが、だんだん通院の回数も減り、現在元気に農作業に従事しています。

ていました。ある日、友達に「肩の肉も落ちてきたのう。仕事がいらいのやろか。」と言われました。

現在、私は農協婦人部の役員として活動していますが、「集団検診の向上と産地づくり」をテーマに、組織を通じて検診を呼びかけ、輪になって健康づくりを努めたいと思っています。

仕事で体重が減るのであれば致し方がないがと思っていました。何気なく「家庭の医学」をひもとくと、ふと「がん」の頁が目につきました。読んでみると体重が減ると記載されていました。

その時丁度、子宮がん検診の受け付けがあったので、早速検診を受けました。

そして私は再検査の通知を受け取りました。保健婦に「早く総合病院で見てもらって下さい。」と言われ、取るものも取り

乳がんの早期発見の

有難さについて

有田市 W・S

その時は自覚症状もなく、自分だけ健康だと思い込んでいたのです。何回ものがん検診の回覧板も他人事のように思

家族一同泣きの涙でした。早速N病院に入院しましたが、手術するまでの幾日かは生きた心地がしませんでした。

い、すぐ次へ回していました。

しかし、辛い、痛い大手術もお陰様で無事に終わり、一ヶ月半の病院生活を経て、もう帰れないかもしれないと思った我が家に戻れた時、その嬉しさは百倍にも千倍にも感じました。あの時、思いき

何年か過ぎたある日、受診を思い立ち、思いきって出掛け、結果もさほど気にせず幾日か過ぎました。しかし葉書を受け取った時、度肝を抜かれました。間違いであってほしいと、わらをも掴む気持ちで神に祈りました。

検査がいかにか必要か、早期発見がいかに大切かわかっていただきたくてお便りを差し上げました。

でも、結局は乳がんでした。恐ろしいこの世の出来事すべてが、我が家に飛び込んで来たような思いで、主人をはじめ、

成人病予防の主役はあなたです。

成人病はあなたの日常生活習慣と深くかかわっています。毎日の食生活や喫煙、運動、飲酒などに対する考え方と行動、また、定期的な健康診査の受診によって予防が可能です。

一次予防

●食生活 ●節酒 ●運動 ●休養
●禁煙などを心がけましょう。

二次予防

●基本健康診査 ●胃がん検診
●子宮がん検診 ●乳がん検診
●肺がん検診などがあります。

コレステロールをとりすぎない

悪玉コレステロールはとりすぎると、動脈硬化を促進し、心臓病、脳卒中の原因になります。

栄養のバランスを考えて……

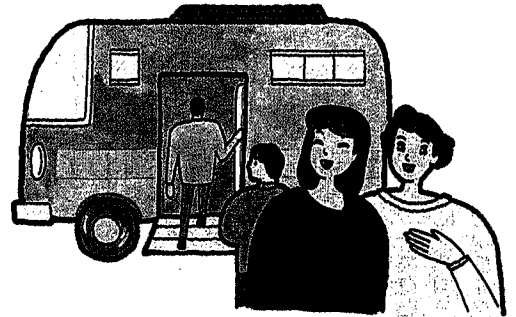
栄養がかたよると、高血圧、糖尿病、貧血、肥満の原因になります。

塩分をとりすぎない

塩分をとりすぎると、高血圧、がんの原因になります。

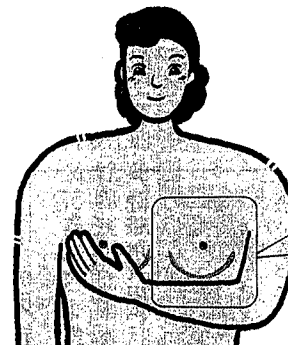
これ以外には ●適度な運動をする ●規則正しい生活で過労をさける ●タバコはすわないなどがあります。

定期的に集団検診や健康診断を受ける

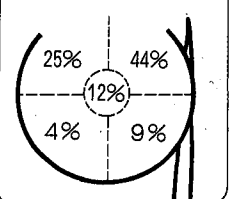


成人病の初期症状をチェック（乳がんの自己検診など）して早期に治療を受ける

乳がんのできやすいところ
全体にまたがるもの……3%
多発………2%



例。左乳房



市町村や保健所が行う保健事業

老人保健法では医療以外の事業として、40歳以降の健康づくりと成人病の予防、早期発見・早期治療などを目的として、次のような保健事業を行っています。

①健康手帳の交付

70歳以上の人および65歳以上の寝たきりの人などにはすべて健康手帳が交付され、これによって医療を受けます。

40歳以上の人でも健康管理上必要と認められる人に交付されます。



②健康教育

40歳以上の人とその家族を対象に、医師、保健婦、栄養士などを講師として保健学級が開かれます。

その内容は、①成人病予防の日常生活の心得、②食生活のあり方などです。



③健康相談

40歳以上の人およびその家族を対象に健康相談を開きます。

健康相談は健康についての相談に応じて、心身の健康に関して必要な指導、助言を行い、健康に役立てようというものです。



④健康診査

健康診査は、成人病の早期発見や予防のため循環器とがんを中心に行われます。

40歳以上の人（子宮がん検診と乳がん検診は30歳から）受けられます。

健康診査は、基本健康診査とがん検診（胃がん検診、子宮がん検診、肺がん検診、乳がん検診）が行われます。

⑤機能訓練

脳卒中の後遺症などでからだが不自由になったり機能が低下している40歳以上の人に、機能の維持回復をはかるため訓練を行います。



⑥訪問指導

40歳以上で寝たきりの状態にある人に対し、保健婦、看護婦などが訪問して、清潔保持、体位交換、褥瘡予防等家庭での看護方法の指導を行います。



ふるさとを再発見

ふるさとを写そう
第四回和歌山県
写真コンテスト入選作品決定

「わたしのふるさとわかやま暮らしのある風景」をテーマに
県下各地から二百四十点の応募をいただきました。審査の結果、
知事賞一点、特選一点、準特選三点、特別賞一点、入選十五点が決まりました。
ここではすべての作品をご紹介しますが、次の日程で展示しますので、
ぜひご覧ください。

知事賞「帰漁時」 金岡 茂(61) 岩出町



- ▼2月2日～8日 伊都県事務所
- ▼2月10日～16日 那賀県事務所
- ▼2月18日～24日 有田県事務所
- ▼2月26日～3月3日 日高県事務所
- ▼3月7日～13日 ミドリ田辺ショッピングセンター
- ▼3月15日～21日 オークワ新宮店

入選(十五人)

和歌山市

「備長炭」小泉吉夫、「地引網」

名島武夫

海南市

「万灯供養」柏木啓二、「笑い祭」

小林一一、「秋晴れ」田倉敏子、

「祭りの人々」辻井嘉孝、「笑い

祭り」中西進、「わかめ干し」福

本記三

新宮市

「あげいん熊野詣」尾崎永蔵

「御興渡御」山上皓一郎

岩出町

「鵜飼の始まるころ」池田愛之助

かつらぎ町

「行」溝上正武、「山里」松本隆央

湯浅町

「二川歌舞伎」地本博、「奥有田

雨情」本谷祐一



特別賞 (高校生以下の部) 「祭り」

山下真経(13) 川辺町 組み写真(2枚)のうち1点



特選 「泣き相撲」

柴 俊嗣(58) 和歌山市 組み写真(3枚)のうち1点



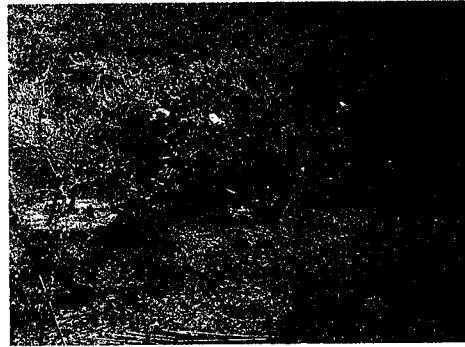
準特選 「備長炭に生きる」

西本豊治(63) 田辺市 組み写真(3枚)のうち1点



準特選 「天狗祭」

瀧本善一(69) 和歌山市 組み写真(3枚)のうち1点



準特選 「摘花の頃」

大西忠良(67) 串本町 組み写真(3枚)のうち1点

640 和歌山市小松原通1-1

(0734)32-4111

おしらせ

募集

自然博物館写真会

期間 2月13日～28日(月曜
日休館)
作品提出締切 3月6日
規格 10号(53号×45・5号)
まで
入選作品は表彰し3月21日
から4月10日まで同館で展示
します。参加希望の方は期間
中館入口で申し出のうえ入館
してください。

県立学校の定時制、通信 制課程の生徒

定時制課程 紀の川、粉河、
海南、海南・下津分校、大成、
箕島、耐久、日高、南紀、南
紀・周参見分校、新宮(いず
れも普通科)、青陵普通科・
商業科)、和歌山第二工業機
械科・電気科・工業化学科・
建築科)
通信制課程 紀の川、陵雲(い
ずれも普通科・衛生看護科)
願書受付 定時制 2月22日
～24日正午、通信制 3月1
日～31日午後3時
学力検査 定時制 3月14日、
通信制 書類により選抜
就学奨励金制度があります。
くわしくは各高校、県教育
庁学校教育課へ

県営住宅空き家入居補欠者

団地名 野田地(橋本市野)
募集戸数 6戸
用紙配布 2月8日～22日
橋本土木事務所、橋本市役所、
伊都郡内町村役場
申込 2月23日、24日 橋本
土木事務所
くわしくは用紙配布先へ

勸業東京学生寮の入寮者

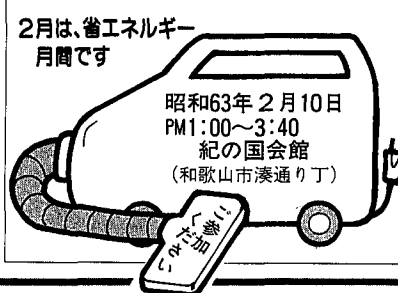
応募資格 東京近辺の大学に
入学予定の男子で、保護者が
県内に居住している方
募集人員 一年生25人 二
四年生若干名
募集期間 3月1日～22日
所在地 調布市佐須町3-16
12(京王線で新宿まで35分)
居室 洋室(10平方メートル) 一室
二人
費用 入寮金三万円 寮費月
額一万六千円 食費(一日二
食)月額一万八千円
図書室、音楽練習室等の設
備を備えた法人経営の学生寮
です。

非常勤講師等希望者登録

教員の産休、育休に伴う
補充者及び各教科の非常勤講
師として「昭和63年度市町村
立小・中学校及び県立学校の
非常勤講師等希望者名簿」へ
の登録希望者を募集します。
応募資格 希望する校種、教
科の教員免許状を有する者(昭
和63年3月末日までに取得見
込みの者を含む)
応募方法 履歴書に希望校種
(小・中・高・特殊)、教科
名、所有免許を明記し、県教
育庁教職員課へ郵送
登録及び任用等 応募者は全
員名簿に登録。(有効期間は
昭和64年3月31日)なお、任
用にさいしては、面接等を行
い採用しますが、欠員等の状
況から全員任用されるとは限
りません。
受付期間 2月15日～3月14
日(消印有効)

くわしくは応募先へ

資源とエネルギーを 考える県民のつどい



昭和63年度県政モニター

募集人員 200人
任期 昭和64年3月31日まで
応募資格 県内に居住し、県
政に関心をお持ちの満20歳以
上の方(公職選挙法による公
職にある方、公務員、県政モ
ニター経験者は除く)
職務 モニター会議への出席、
アンケート調査などのほか、
随時に県政への建設的な提言
をしていただきます。
募集期間 2月1日～29日(消
印有効)

赤十字県民大学の受贈生

対象 成人
講座 ○健康と病気(20人)
4月9日～64年3月4日 第
1・3土曜日午後2時～4時
○病気と食物(50人) 4月9
日～9月10日 第2土曜日午
後2時～5時 ○家庭看護法

同和連載

いつていいことと
あるいいこと

上富田町岩田小学校 二年 稲垣 幸代

「年のやきいも大会のとき
のことです。AくんやBくん
が二つくつついてるおいもを
見て
「ベトちゃん、ドクちゃん。」
と、いいました。それをきい
て先生が、
「そんなこと、いったらあか
ん。」
と、いいました。はたにすわ
っていた女の子が、
「かわいそうや。」
と、いったり、
「自分がそんなになつたらど
うするん。」
とかいいました。わたしも、
「自分、そんなになつたらつ
らいやろう。ベトちゃん、ド
クちゃんもおなじやねんで。」
と、いうと、かなちゃんも、
「本当は、ふたで生まれる
はずやっで。一番かわい
いそうな人は、ベトちゃん、ド
クちゃんのお母さんやで。」
と、いいました。みんな、い
いことをいうなとわたしは思
いました。
のわる口いのはよくあ
りません。空からくすりをま
いてそれをかぶつたりのんだ
りしたからそんな赤ちゃんが
生れたんです。先生は、
「そんな、たといはいいたと
えとちがいます。」
と、いいました。
わたしは、
「どうしていったの。」
と、きくと、
「あまりいもがにたから。」
と、いきました。わたしは、
「いもがにてもいっただら
め。いつていいこととわるい
ことがあねんで。」
と、いうと、
「うんこれくらいわへん。」
と、いいました。はんせいし
てるのかなとわたしは思いま
した。
と、いいました。
の体のかっこうをみて、
いろいろいうのはわるいこと
です。それに、ふじゅうな体
に生れてきた人たちはきつと
早くびょう気をなおしてわた
したちと同じように走ったり
あそんだりしたいと思ひます。
みんな同じ人げんです。わた
しはみんなでたすけあつてつ
らくてもたのしく生きていけ
るようみんななかよしになつ
たらいいと思ひます。

和歌山県身体障害者福祉 センター入所者

(50人) 4月9日～9月10日
第2土曜日午後2時～5時
会場 和歌山赤十字看護専門
学校(和歌山赤十字病院内)
受講料 テキスト代実費
申込期間 3月1日～14日
申込方法 往復ハガキに希望
講座、住所、氏名、生年月日、
電話番号を書いて、〒640和歌
山市小松原通4-11 和歌山
赤十字病院医療社会事業部
(0734)22-4171へ
くわしくは申込先へ

募集人員 50人

訓練科目 洋裁科、和裁・編
物科、写植・タイプライド(ワー
プロを含む)、印刷科、印章科、
縫製科、自動車運転科
入所期間 1年(自動車運転
科は3カ月を原則とする)
対象者
(1)身体障害者手帳の交付を受
け、年齢15歳以上の肢体不
用などくわしくは申込先へ

自由な方

(2)身辺処理ができ、伝染性疾
患のない方
(3)自動車運転科の場合は、和
歌山県公安委員会の行う自
動車運転適性検査に合格し、
前項に該当する方
申込 2月29日までに、履歴
書、健康診断書、写真を持参
のうえ、最寄りの福祉事務所
へ
選考、面接、検査、入所費
用などくわしくは申込先へ

催し

県立近代美術館 ☎(0734)36-1331

第22回和歌山県立近代美術協会友の会展 2月25日～29日

館蔵作品展 3月5日～27日

植物公園緑花センター ☎(0736)62-4029

春ラン展 2月20日～21日

園芸教室 「やさしいバラの育て方」 2月21日
「盆栽の整枝と植替え」 3月6日 定員40人（先着順）

お気配にどうぞ

交通事故相談

〔常設相談〕月～土曜日

場所 県庁交通事故相談所、東牟婁県事務所
〔弁護士による相談〕▶県庁交通事故相談所 毎月第1、3月曜日 受付 午後1時～2時 ▶東牟婁県事務所 毎月第1、3土曜日 受付 午前9時～10時

〔巡回相談〕▶西牟婁県事務所 2月16日 ▶伊都県事務所 2月24日 ▶日高県事務所 3月7日 受付 午後3時まで

県民相談

〔常設相談〕月～土曜日

場所 県民総合相談室、各県事務所

〔弁護士による法律相談〕毎月第2、4金曜日

受付 午前11時まで 場所 県民総合相談室
〔移動相談〕▶新宮市役所 2月17日 ▶古座町コミュニティセンター 3月8日 午後4時まで

電波で結ぶあなたと県政

テレビ (テレビ和歌山・NHK)

きのくに'88 金曜日 午後10時～
(WTV) (再)日曜日 午前11時～
県民チャンネル 月～土 午後8時55分～
(WTV) 日曜日 午後7時55分～
豊かに生きる 土曜日 午後6時～
(WTV)
くらしのチャンネル 月～金 午前11時40分～
(NHK) (再) 午後1時25分～

ラジオ (和歌山放送)

県民マイク 土曜日 午後2時40分～
県庁だより 月～日 午前11時40分～
(再)月～金 午後5時40分～
(再)土・日 午後6時～

極左110番

☎0734-23-0110

県民生活を破壊する極左暴力集団を追放するために、ピンときたら「極左110番」にお知らせください。

訂正

1月号のおしらせの中で、県立高等技能学校の生徒募集、願書受付期間、その他の方＝1月7日～6月30日は1月7日～1月28日の誤りでした。
ご迷惑をおかけしましたことをおわびし、訂正します。

おしらせ

県庁・県教育庁



確定申告は正しくお早めに

所得税、県・市町村民税、個人事業税の申告の期間は、2月16日から3月15日までです。

産業別最低賃金改正

事業主はこの最低賃金以上の賃金を支払わなければならない。くわしくは和歌山労働基準

局 ☎(0734)22-1217

1か最寄りの労働基準監督署へ

最低賃金件名	最低賃金額	
	日 額	時間額
和歌山県最低賃金	3,580円	448円
食料品・飲料・飼料製造業	3,790円	474円
繊維産業	3,691円	462円
木材・木製品・家具・装備品製造業	4,000円	500円
出版・印刷・同関連産業	4,000円	500円
機械・金属製品等製造業及び自動車整備業(弱電業)	4,001円	501円
皮革・プラスチック製品・殺虫剤等製造業	3,752円	469円
卸売・小売業、飲食店	3,968円	496円

労働者に加入を

労働者を一人でも雇用する事業主は、法律に基づき、必



くわしくは県庁みかん園芸課内県花き生産協会へ

花と緑のフェスティバル

日時 3月5日～6日

場所 県労働福祉会館プラザホープ

花き花木の展示や無料配布のほか園芸相談、青空市場、フラワーデザイン教室などを行います。

書は簡単に書けるようになっていきますので、できるだけ早めに提出してください。

くわしくは税務署、県税事務所、各県事務所税務課、各市町村役場税務課へ

電波で結ぶあなたと県政

テレビ (テレビ和歌山・NHK)

きのくに'88 金曜日 午後10時～
(WTV) (再)日曜日 午前11時～
県民チャンネル 月～土 午後8時55分～
(WTV) 日曜日 午後7時55分～
豊かに生きる 土曜日 午後6時～
(WTV)
くらしのチャンネル 月～金 午前11時40分～
(NHK) (再) 午後1時25分～

ラジオ (和歌山放送)

県民マイク 土曜日 午後2時40分～
県庁だより 月～日 午前11時40分～
(再)月～金 午後5時40分～
(再)土・日 午後6時～

極左110番

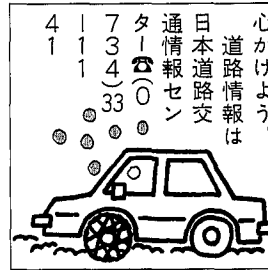
☎0734-23-0110

県民生活を破壊する極左暴力集団を追放するために、ピンときたら「極左110番」にお知らせください。

訂正

1月号のおしらせの中で、県立高等技能学校の生徒募集、願書受付期間、その他の方＝1月7日～6月30日は1月7日～1月28日の誤りでした。
ご迷惑をおかけしましたことをおわびし、訂正します。労働保険(雇用保険・労災保険)に加入しなければなりません。
加入の手続き等くわしくは最寄りの公共職業安定所、労働基準監督署へ

道路の凍結に注意!

2月は道路が凍結しやすい時期です。減速走行や早目のチェーン装着を心がけよう。
道路情報は日本道路交通情報セン

ガスタービン、ディーゼル機関を設置の方へ

ガスタービン、ディーゼル機関の設置については、今年2月1日から届け出が必要となりました。
くわしくは県庁環境調整課、各保健所(和歌山市は市役所公害対策室)へ

試験

測量士・測量士補

試験日 5月22日

試験場 大阪府下の都市ほか

14都市

願書受付 2月10日～3月15日

日 千歳茨城県つくば市北郷

一番 建設省国土地理院

願書交付 2月1日から県庁

監理課と各土木事務所へ

くわしくは願書交付先へ

製菓衛生師

試験日 3月9日

試験場 県民文化会館

受験料 5,100円

申込 2月8日～15日に居住

地を所轄する保健所へ

くわしくは県庁生活衛生課、各保健所へ

融資など

修学資金・就学支度資金

母子家庭の経済的援助を図るため、お子さんの修学資金



北方領土 返るまで消すな 領土に世論の灯

融資額 一人50万円以内
年利 5・7%
返済期間 進学する学校の修業年限以内
くわしくは国民金融公庫和歌山支店 ☎(0734)22-3151、同田辺支店 ☎(0739)22-6120、各金融機関へ

国の進学ローン

くわしくは県庁児童家庭課、各福祉事務所(和歌山市は市役所厚生課)へ

を無利子で融資します。
受付期間 2月29日まで
申込先 各市町村母子福祉担当課

伝統を守り伝えて

清水町の雨錫寺に伝わる杉野原の御田の舞が国の重要無形民俗文化財に指定されました。県内の重要無形民俗文化財としては、那智の田楽、花園の御田の舞について3件目。

杉野原の御田の舞は、田植えから稲刈りまでの様子を舞う田楽で、隔年の2月に奉納されます。

なお、今年は奉納の年で、保存会の人たちは2月11日の奉納にむけ、重要無形民俗文化財の名に恥じないようにと練習に励んでいます。(清水町)



うん 山村留学!?

粉河町鞆淵、四面を山に囲まれた、人情豊かな地。この山里の小学校と中学校が昭和63年度の山村留学生を募集している。

鞆淵小学校は全校生徒71人、鞆淵中学校は38人。今、小・中学校あわせて3人の留学生が勉強していて、みんなが友達のこの学校でいきいきと生活している。

留学生は、地元の人たちで組織する山村留学対策委員会(0736)79-0003で引き受けてくれる。(粉河町)



▼昭和30年代の新宮川風景



名勝静峡にプロペラ船復活

その昔、新宮と本宮、十津川との間は、わずかに人ひとりを通す山道があるだけで、人や物の往来は川舟にたよっていた。川が浅く急流のため人が舟を引っぱってのぼった。本宮まで2日、十津川まで4日。現在の私たちには想像を絶する労苦である。

そこで大正8年最初のプロペラ船が発明され、本宮までいっきに3時間に短縮。ある時は海軍に徴用され、揚子江を漢口まで約800kmをさかのぼり活躍という不幸な使われ方もあったが、現在のウォータージェット船に最後の1隻がその主役を譲る昭和45年まで、静峡観光といえばプロペラ船であった。

時は移り、世はレトロブーム。新しい観光の目玉にとその勇姿を復活させることとなった。就航予定は4月1日。(新宮市)

合気道の開祖

植芝盛平



合気道は古い武道の一つと思っている人も多いようだが、合気道の歴史は60年ほど。意外に新しい武道である。

「氣」を重んじ、自然に逆らわない武道、合気道。その開祖植芝盛平は、明治16年、西牟婁郡西ノ谷村(現在の田辺市元町)の農家に生まれている。

大正14年の春、東京、北海道に移り住み、既に様々な武道を習得していた盛平は、京都府綾部の山中において激しい修行にあけくれている。そしてその激しい修行の結果、「万物を支えているのは「氣」である。氣が凝結して宇宙を作る。自分の精神を宇宙と同一レベルまで昇華させることにこそ武道の精神がある。」と悟った。合気道精神の誕生である。

盛平は、その後、東京で、田辺で、そして日本全国で合気道を教え、数多くの弟子たちにその精神を伝えた。

昭和44年、盛平が88歳で没した後、子息の吉祥丸氏を中心に合気道の精神は広く教えられ、今では世界46カ国、100万人が練習に励む世界有数の武術へと発展をとげたのである。

なお、今年8月24日から田辺市で開催される第5回国際合気道大会にあわせ、盛平顕彰像建立を進める運動が盛り上がり、田辺市役所を中心に募金活動が行われている。

昨年暮から正月にかけて、県外の読者から多くのたよりをいただきました。

現在、県外、海外在住の県人など2千人に配達していますが、長く郷土を離れている方が多く、郷土のことがよくわかると喜んでいただいています。

今年は、各種プロジェクトを中心に実行と実現の年。

県内に住む私たちはもちろん、県外の県人が「私の郷土は和歌山です」と胸をはって言えるよう、がんばっていききたいと思えます。

合気道の開祖

シリーズ28